

動物の
フィールドサイン

角の研ぎあと

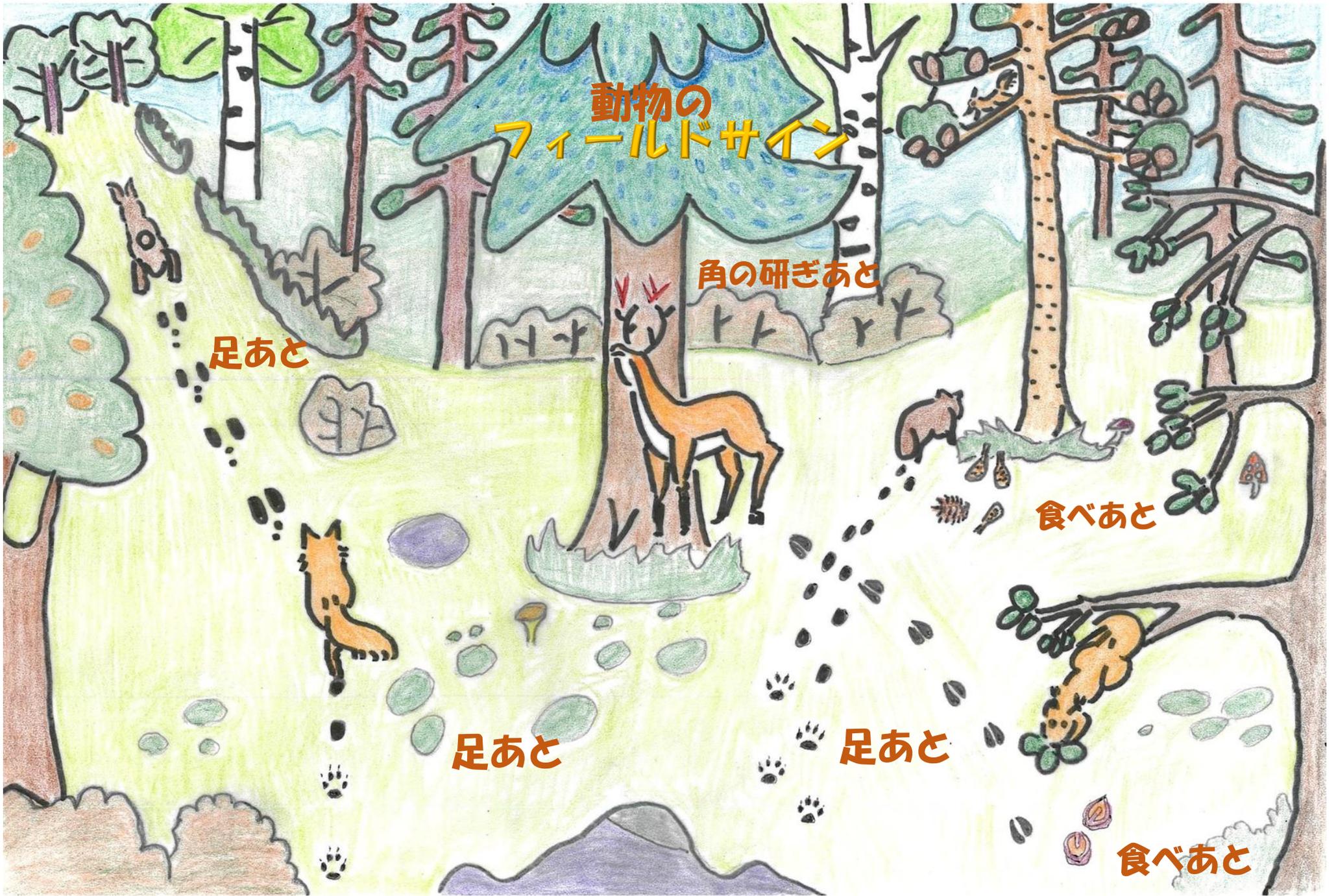
足あと

食べあと

足あと

足あと

食べあと



野生動物たちの暮らしを想像してみよう

野生動物を観察しようと野山に入っても、なかなか姿を見ることはできないよ！どうしてだろう？

それは野生動物たちが人間との接触を避けて生活しているからだ。でも彼らが残していった、足跡・💩・食べ跡などの痕跡を見ることはできるんだ。

また野生動物は夜行性(夜に活動する)のものが多く、彼らの残した痕跡(フィールドサイン)が手掛かりになるんだよ。



フィールドサインとは？

食べ痕



爪痕



ウンチ



足跡



フィールドサインが見つかる場所



田んぼや畑・
開けた砂地など



実のなる木の周辺



雑木林やたい肥場・
林道やハイキングコース

足跡

足跡は①泥場②細かい砂地③浅い雪の上で探そう

①



②



③



足跡 歩き方のタイプ

指行性



肉球のある指先
で歩くタイプ



4本の指跡
手の親指の跡がつかない
イヌ・ネコ・キツネ・
タヌキなど

踵行性

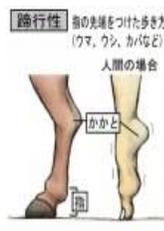


踵までべったり
つけて歩くタイプ



5本の指跡
かかとまでべったりつけて歩く
タイプ
ヒト・サル・クマ・アナマ
・イタチなど

蹄行性



指の先端をつけ
て歩くタイプ



ヒツメの跡
ウマ・ウシ・イノシシ・
シカ・カモシカなど

跳躍性・小さい見 つけにくい

体重が軽く足跡が付きにくい、小さい動物や、地中で活動するため、見つけにくい動物。ウサギやリスネズミ、モグラなど。



跳躍性の足跡
ウサギやリスなど。
後ろ足で跳ねて前足で着
地し、次に後ろ足を前足
の前でちやくちする。



フンの中には木の实や動物の毛・羽毛・昆虫の足など、季節により様々なものがみられる。

棒状フン



主に動物食や雑食性の動物に多いフンで、長さや大きさは動物の大きさに比例する。キツネ・タヌキ・アナグマ・イノシシ・テンなど

塊状フン



棒状フンを残す雑食性の動物が、植物を多く採食した時に排泄するフン。クマ・イノシシ・ムササビ・シカなど

俵状フン



植物食のシカやカモシカのフン。先の尖った砲弾形や座薬形もある。

丸フン



ほぼ円形をした植物食の動物のフン。ノウサギのフンは浅田飴の形で、ムササビは正露丸に似ている。アナウサギのフンはノウサギと比べ黒くて少し小さめ。

小さいフン

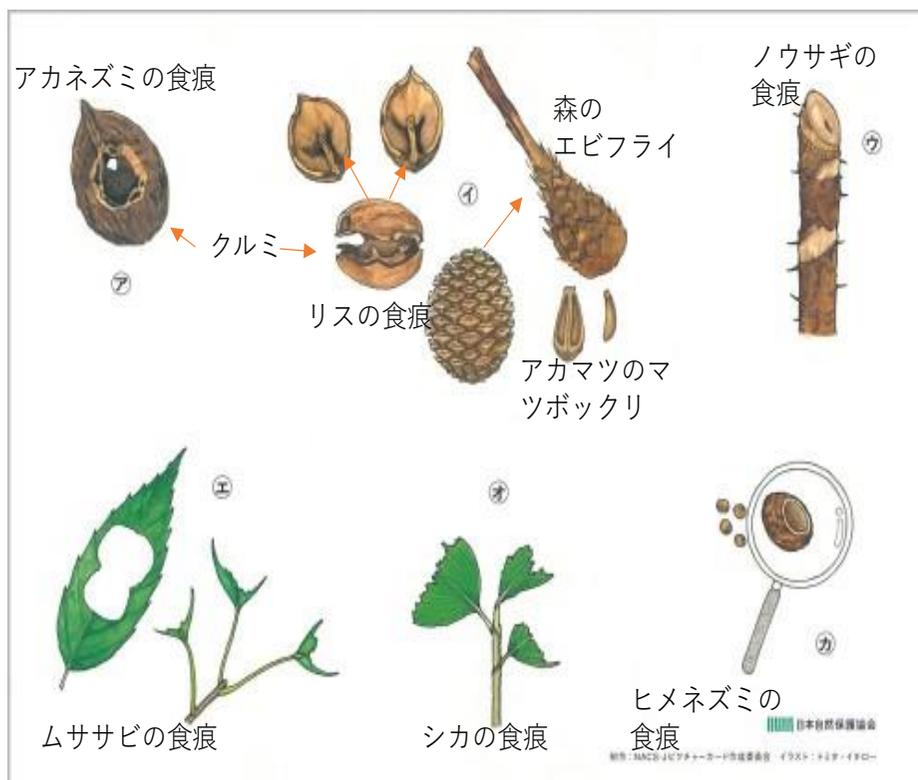


リスやネズミ類のフンは小さいので野外では見つけにくいものが多い。

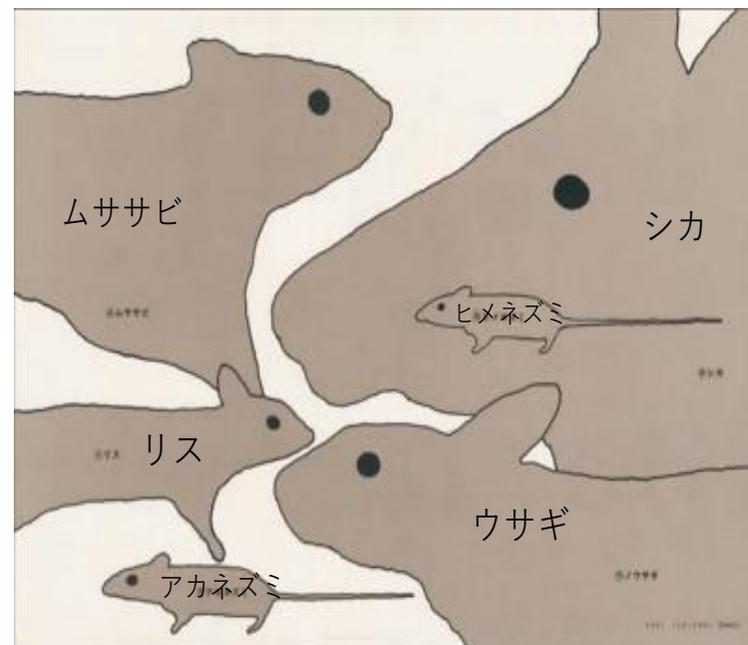
食痕

動物食の動物の場合、食痕そのものが残りにくい。植物食の動物は、種の特定につながる特徴的な食痕がいくつかある。また残された食痕から、植物の種類や部位が分かると持ち主の重要な手掛かりになる

植物の食痕



植物を食べた動物たち



その他のフィールドサイン

・めた場 シカ イノシシ



体についた寄生虫を落とすために転げ回った場所のこと

・巣穴 アナグマ キツネ



体系に合わせてアナグマの巣は横長



体系に合わせてキツネの巣は縦長

・巣 イヌ



高い木の股の部分に小枝で組んだ球状の巣

・角の研ぎ跡 シカ



オスジカが袋角の袋を破くためや、角を研ぐために擦った跡